

第3学年 音楽科学習指導案

指導者

1 日 時 令和6年11月19日(火) 第5校時(13:55~14:40)

2 学年・組 第3学年1組(29名)

3 題材名 いろいろな音のひびきに親しもう

(教材名) (トランペット吹きの休日)

4 題材の目標

- (1) 音色などの特徴や、曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりに気づき、思いや意図に合った表現をするために必要な器楽の技能や、発想を生かした表現に必要な即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。
- (2) 音色、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
- (3) 楽器の音色や重なり合う音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、いろいろな音の響きに親しむ。

5 題材の評価規準

知 ・ 技	知①曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。 知②曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。 知③楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 知④いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 技①思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 技②思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 技③発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。
思 ・ 判 ・ 表	① 音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ② 音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ③ 音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。
態	① 楽器の音色や重なり合う音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

6 題材について

【育成を目指す能力】

本題材の内容は、学習指導要領において次のように示されている。

《器楽》

ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。

イ (ア) 曲想と音楽の構造との関わり

(イ) 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり

ウ (ア) 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能

(イ) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能

(ウ) 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能

《音楽づくり》

ア (ア) 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。

(イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。

イ (ア) いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴

(イ) 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴

ウ (ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能

(イ) 音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能

《鑑賞》

ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。

イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付くこと。

〔共通事項〕

ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。

(本題材において思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：音色、音の重なり)

【教材観】

「トランペットの休日」 アンダソン作曲

「トランペットの休日」は3本のトランペットとオーケストラで演奏されている。トランペット吹きの若者が、仕事から解放された休日に、心ゆくまでトランペットを楽しんで吹いている様子が描かれてあり、明るく活気に満ちた曲想で、子どもたちも一度はどこかで耳にしたことがある親しみのある曲である。複合三部形式でつくられ、旋律の反復と演奏の仕方の変化を感じ取ることができる。疾走感のあるファンファーレに始まり、歯切れよく軽快な主題、3本のトランペットが重なり合うベルトーン（階段状に音を重ねていく演奏方法）、トランペットと弦楽器の掛け合いなど、様々な形で演奏され、ファンファーレで華やかに終わる。トランペットの音色を感じ取ることができ、楽しみながら鑑賞の活動に取り組むことができる曲である。

【児童観・指導観】

本学級の児童は、音楽に関心があり、鑑賞の授業では、聴き取ったこと・感じたことを他の人に伝えたり、聞いたりしようとする姿が見られる。また、音楽を聴くときには、体を揺らしてリズムを取ったり、手などを動かして曲を感じたりする児童もいる。歌唱に関しては、一度勉強した曲を何度も歌ったり、口ずさんだりしている児童もあり、音楽の時間に歌を歌うことに対して、積極的な姿勢が多く見られる。

本題材は、曲想の変化を捉え、楽器の音色や響きを感じながら、聴いたり、演奏したりする学習を行っていく。その際、紙に書くだけではなく、体を動かしたりすることを通して、楽しみながら曲を感じることができるように進める。

7 指導計画 【手立て ！配慮事項 ④個別支援 ICT】

	時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価の観点		
				知・技	思	態
鑑賞	1 (本時)	○「トランペットふきの休日」を、トランペットの音色に気を付けて聴く。 ◆トランペットの音色の特徴を感じ取りながら、曲全体を味わって聴こう。 トランペットは、高い音色で元気が出てくるよ。それに速いから、休日というより、どんどん走りたくなるね。 少しずつリズムが変化したり、3本のトランペットの音が重なり合ったりするところが何回も出てきて面白いね。	㊦P. 52～53 の写真を見て、トランペットの構造を確かめ、音色を知る。 ㊦冒頭の主な旋律を口ずさむことで、音の重なりや曲想の変化を感じ取る手がかりとする。	知①	思①	
	2	○金管楽器の仲間について知り、「よろこびの歌」を金管楽器の音色に気を付けて聴く。 ◆「よろこびの歌」を聴き、金管楽器の音色を味わおう。 同じ金管楽器でも、音色が全然違うね。トランペットはとても高い音で元気ではじける感じだけど、チューバはとても低い音で落ち着く感じだった。	㊦P. 54～55 の写真を見て、それぞれの楽器の違いを確かめ、いろいろな金管楽器の響きを聴く。 ICTテレビなどを活用して映像を提示することで、視覚的に分かりやすく伝える。			

器 楽	3	○「パフ」の範唱と範奏を聴いて、曲の感じを捉え、歌詞唱したり、リコーダー1を演奏したりする。 ◆曲の特徴を感じ取って演奏しよう。 たくさんの楽器で演奏していて、楽しい感じがする。いろいろな楽器の音色が聴こえてくるから、にぎやかだね。	㊦拡大楽譜を用意して、リズムを確認しながら演奏できるようにする。	知②		
	4	○指使いや息の強さに気を付けて、音の響きを意識して演奏する。	㊦リコーダーで低い音を演奏するときは、P. 49の「リコーダーのひくい音であそぼう」を参照し、息の使い方に気を付けて美しい音で演奏するようにする。	知③		
	5	◆リコーダー1・2を重ねて演奏しよう。 1と2のパートは、音の高さは違ってもリズムは同じだね。音の高さが同じところと違うところがあるから、気を付けて演奏しよう。 ◆リコーダー1・2に鉄琴や低音のパートを入れて演奏しよう。 低音パートに合わせて拍を意識すると、うまく重ねて演奏できるよ。低音パートの音もしっかり聴きながら演奏しよう。	㊦リコーダーと鉄琴、リコーダーと低音のパートを組み合わせで演奏するなどして、音の重なり方を確かめていく。	技①		
	6	○曲の感じに合うように、思いや意図をもってグループで演奏を工夫する。 ◆曲の感じを生かすために、楽器の音色やバランスなどを工夫して演奏しよう。 楽しい感じを出すために、鉄琴は軽く明るい音色で演奏しよう。リコーダーが主旋律だから、人数を増やしてよく聴こえるようにしたほうがいいね。	㊦楽器の組み合わせ、楽器の音色の出し方、パートのバランスなど、工夫するポイントを示しておく。 ICTGIGA 端末の録画機能を活用して演奏を記録し、何度も見直すことで、演奏を分析するようにする。	技②		
音 楽 づ く り	7	○拍にのって重なり合う音の響きを互いに聴き合いながら合奏する。 ◆お互いのグループの演奏を聴き合おう。 Aグループは、リコーダー1が明るい音色で演奏できていて、低音楽器の音の強さがバランスよくて、他の楽器と重なり合って響いていたね。互いによく聴き合って拍にのって演奏していたね。	㊦工夫したことを説明してから発表することで、聴くポイントを明確にして聴き合うようにする。	思②		
	8	○「ドキドキする音楽」を参考に、音の響きや重なり合い、音のつながりなどを確かめる。 ◆いろいろな楽器を鳴らして、グループで音の響きや重なり合い、音のつながりを試そう。	㊦自分の表現に生かすことができるよう、「ドキドキする音楽」を参考に、音楽づくりのポイントをみんなで見つけ			

	一つずつ順番に楽器を鳴らすと、ドキドキの感じがどんどん高まるね。重なる楽器の組み合わせが変わると、音色が変わって面白いね。	るようにする。			
9	○楽器の音色や音の響きを生かして、グループでタイトルを考え、クロックミュージックをつくる。 ◆グループのタイトルに合う音の重なり方やつなげ方を考えてつくろう。 タイトルを「ジェットコースター」にしたよ。はじめはゆっくり上がっていく感じを出すために、少し間をあけて1つずつ増やして鳴らしてみよう。 「おばけやしき」のタイトルで、おばけが出てきて驚かすところは、全部の楽器を一番強い音で鳴らしてみよう。	♫音の重なり・つながり・強弱などの工夫をするポイントを明確にできるように示しておく。 ICT P. 59 二次元コードの「クロックミュージック3」を利用し、つくった音楽を聴いて、自分たちのタイトルに合う音楽になっているかを確かめる。			
10	○グループでタイトルに合う音楽をつくって、演奏する。 ◆お互いのグループの演奏を聴き合おう。 A グループは、真ん中あたりで、全部の楽器をどんどん強く重ねて鳴らしていたので、「山登り」で頂上についてうれしい感じが伝わってきたよ。 ○題材における学びを振り返る。	♫グループ同士で聴き合うときに、聴くポイントを明確にするために、前時にあげた工夫のポイントを示しておく。	知④	思③	
			技③		態①

記録に残す主な評価場面

- ・知①「曲想と楽器の音色など音楽の構造との関わりに気を付けて聴いている様子の観察、発言の内容」【1時間目】
- ・技②「全パートを重ねて演奏している様子の観察、演奏の聴取」【7時間目】
- ・思②「音を選択したり組み合わせたりして、発想を生かして音楽をつくっている様子の観察」【9時間目】
- ・態①「発言の内容に見られる学習内容への興味、楽器を演奏しているときの行動の観察、演奏の聴取、音楽をつくっているときの様子の観察、聴いているときの表情や体の動きの観察、学習の振り返りの発言または記述の内容」【10時間目】

8 本時について(1/10)

(1) 目標 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。(知①)

(2) 展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 変個別支援
○曲を聴き、感じ取ったこと・聴き取ったことを話し合う。 ◆曲を聴いて、感じ取ったこと・聴き取ったことはありますか。 ・運動会で流れている感じがしました。 ・急いでいる感じがしました。 ・走り出しそうに聞こえました。 ・速度が速かったです。 ・高い音が多かったです。 ・同じ旋律が繰り返されていました。 ○めあてを確認する。	◇初めは曲名を知らせないことで、曲想を自由に感じ取りながら聴くことができるようにする。 ◇感じ取ったことや聴き取ったことを板書し、児童の思考を深めることができるようにする。 *感じ取ったことと聴き取ったこと関連付ける。
めあて：トランペットの音色やひびきを感じてきこう	
○トランペットの音色を聴き取る。 ◆トランペットはどんな音色でしたか。 ・高い音で明るい感じがしました。 ・元気な感じがしました。 ○旋律の反復を聴き取る。 ◆初めの旋律が聴こえたら、手を挙げましょう。 ・同じ旋律がずっと繰り返されていました。 ・同じ旋律だけど、違う音色のところもありました。 ○旋律の重なりを聴き取る。 ◆この曲は何人で演奏していましたか。 ・3人だと思います。 ・真ん中のあたりで3つの音が順番に鳴っていたように聞こえました。 ○本時に学習したこと、感じたことを振り返りながら、曲を聴く。	◇この曲がトランペットで演奏されていることを伝え、写真を用いて、トランペットがどのような楽器なのかを知る。 *曲の冒頭部分だけを聴いて、トランペットの音の特徴を捉える。 *鑑賞の前に、初めの旋律を口ずさんでおくことで、主旋律を聴き取ることができるようにする。 ◇初めと最後で同じ旋律が使われていること（反復）に気付かせるために、口ずさんだり、旋律が流れている間は手を挙げたりするなど、体を動かした活動を取り入れる。 ◇何人の人が演奏しているかを指で数字を作ることで、トランペットの響きを注意深く聞くことができるようにする。 ◇3人1組になり、それぞれのトランペットの音が聞こえたら立つ活動を行うことで、音の重なりを感じ取ることができるようにする。 ◇板書で本時を確認しながら聴くことで、曲全体を味わって聴くことができるようにする。

○振り返りを書く。	◇「いいな」「面白いな」と思ったことを書く。理由を書くことによって、曲想と楽器の音色などの音楽の構造とのかかわりに気付くことができるようにする。
-----------	--

(3)評価

知①	曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。
「おおむね満足できる」状況と判断できる「体を動かしながら聴いている様子・発言の内容」	
・「トランペットの休日」を体を動かすことで、音の重なりや反復を感じ取りながら聴いている様子。 ・「3つのトランペットの音色が明るくて元気な感じがしました。」のように、楽器の音色や響きに気付いている発言。	

(4)板書計画

いろいろな音のひびきに親しもう

めあて トランペットの音色やひびきを感じてきこう

♪「トランペットの休日」 アンダソン作曲

- ・感じ取ったこと
- ・聴き取ったこと
- ・楽しい
- ・速いそくど
- ・走っている
- ・だんだん上がるせんりつ
- ・明るい
- ・高い音
- ・ラッパのような音

トランペットの
写真

明るい
元気
高い音

おいかけ合い
三つの音がじゅんばん
はじめてのせんりつ
ほかの楽き

(5)活動の場

ホワイトボード

電子オルガン
(スピーカー)
